

インフォメーション タイム

皆さん、お疲れさまです。
本日のインフォメーションタイムでは、
実施したアンケート結果を共有し、
私たちの活動課題を整理します。
回答には想像以上に率直な声が集まり、
現状を客観的に把握できました。
短時間で要点をお伝えしますので、
最後までよろしくお願いいいたします。

四日市青年会議所 活動 環境に関するアンケート

本アンケートは、四日市青年会議所の活動をより円滑に進めるため、日々の取り組みの中で感じる負担や課題を把握し、改善の参考とすることを目的としています。

- 回答時間：1～2分（全5問）
- 選択式が中心

回答期限：3月9日

短時間で回答できる内容で、複数選択が可能なアンケートでしたので、これから出てくる %という結果は、全回答者の %が回答したという見方となります。

Q1.現在の活動において、負担に感じることを教えてください。

Q2.これらの負担によって、本来取り組みたいことに影響が出ていると感じますか？

Q3.負担を減らし、よりスムーズに活動を進めるために、どのようなことが必要だと思いますか？

Q4.活動を進める上で、新しいツールや方法を試してみたいと思いますか？

Q5.活動をよりスムーズにするために、どのようなサポートがあると良いと思いますか？

※複数選択可能なアンケート

現在の活動において、 負担に感じることを教えてください。

①日程調整やスケジュール管理が難しい ... 63%

②事務的な作業に時間を取られてしまう ... 48%

※全回答者の内○%がチェックを入れたという意味

③企画や準備に時間がかかる ... 44.4%

④報告や記録(議事録・議案作成など)が負担になっている ... 44.4%

⑤メンバーとの情報共有や連絡がスムーズにいかない... 33.3%

他:ルールや慣習を把握している人が多くなく、確認ややり直しに手間が掛かる

他:特にはりませんが、日本青年会議所のルールと激しさには思うところがあります

他:今は特にないが、経験が浅い中で理事を受けた人たちに対してのリーダー論など

自発的に学ぶのには時間がかかるので教育してあげる仕組みがあるとよいと思う。

日程調整、スケジュール管理が難しい 63 %、
事務作業に時間を取られる 48 %、
企画準備、記録作成がともに 44 %、
情報共有の不足 33 %という結果でした。
特に日程調整が過半数を超えた点はインパクトが大きく、やはり根は時間管理の難しさと実感しました。
自由記述にも「確認ややり直しに手間が掛かる」との声が多く、ルールの複雑さが影響していることが読み取れます。

これらの負担によって、
本来取り組みたいことに影響が出ていると感じますか？

①多少影響がある
(もう少し余裕を持って活動したい)

...63%

②かなり影響がある
(取り組みたいことに時間を割けない)

...37%

③ほとんど影響はない(現状のままで問題ない) ...7.4%

「かなり影響がある」が 63 %、
「多少影響がある」が 37 %。
多くの人が何らかの影響を感じています。
「やりたいことがある！けど時間が足りない」
という声は、まさに私たちが日ごろ感じている
ジレンマを数字で裏づけた形です。

負担を減らし、よりスムーズに活動を進めるために、
どのようなことが必要だと思いますか？

①企画運営の流れを整理、簡略化...52%

②役割や作業の分担を明確にする ...48%

③情報共有の仕組みを改善する(データ管理・アクセスなど) ...44%

④記録や報告をもっと効率よくできる仕組みをつくる ...41%

⑤現状のままで問題ない...7%

他：議案の簡略化 理事の育成 専務の負担を減らしてあげたい
JC力の向上のための指導者の修練と本業を発展させる経営力

トップは「企画運営の流れを整理・簡略化」52 %、
次いで「役割・作業分担の明確化」48 %、「情報共有の仕組み改善」44 %でした。
流れの整理が最上位というのは、手順の可視化だけでもかなりのストレスが減るという
メッセージだと受け止めています。
併せて「議案の簡略化」「理事育成」といった
声もあり、
システムと人材育成の両輪が欠かせないと感じました。

活動を進める上で、
新しいツールや方法を試してみたいと思いませんか？

①ぜひ試してみたい...74%

②興味はあるが、使いこなせるか不安 ...37%

③できれば今のやり方を続けたい...0%

他:ChatGPT等での事務局負担や広報スキルの向上は取り組める気
事業立案はやっぱり理事の力に依る部分が強いとは思いますが。

「ぜひ試したい」74 %、
「興味はあるが不安」37 %、
「今ままで良い」は0 %でした。
前向きな姿勢が大多数を占めたのは
心強い結果です。
ChatGPTやクラウド管理ツールなど、
具体名を挙げてくださった方も多く、
導入準備を急ぐ価値があると感じ
ました。

活動をよりスムーズにするために、
どのようなサポートがあると良いと思いますか？

①作業負担を減らすツールや仕組み導入...89%

②情報共有やデータ管理のサポート...41%

③役割分担の見直し...37%

④活動を円滑にするための研修や講演...22%

⑤特に必要ない...3.7%

他:一人一人の向き合い方 役割分担の明確化

他:会員拡大の結果、余力ある人間を増やす。

あとは、事務局さんが見本を示せるようなことができると良いかと。

昔は事務局で例会も持っていましたね～。

「作業負担を減らすツール導入」
89 %が突出し、
「情報共有・データ管理サポー
ト」 41 %、
「役割分担の見直し」 37 %
と続きます。
ツール導入への期待の高さと同
時に、「会員拡大で余力を増やす」
「事務局が見本を示す」といった
声があり、技術と組織運営の両面
支援を求めていることが分かりま
す。

改善のアイデアや事例があれば教えて下さい

- ・JCアプリはどうでしょうか？
- ・頑張ってください！日本で役立つことがあればまた展開します。
- ・クラウドシステムの活用もしくは四日市青年会議所に合うシステムを制作してもらう。
- ・新しいこと、試してみましょう！
- ・通帳は解約せず使い回したい(委員会ではなく四日市青年会議所名義とかで)、キャッシュカードほしい、会員数に応じて年間の例会数を変動してほしい。
- ・記録や分掌の整理を行う。特に次年度への準備が始まる前に、準備段階での理事自身、理事間での調整が不可欠。
- ・例会事業(事業がもつ性質、講師例会・屋外例会・家族向け・組織向け・事務局系)にはどのよ 資料(審議対象資料、参考資料)が必要になるのか。
フォーマットとなるような資料を作ておく必要があるかと思います。
それには、Googleサイトを活用して、運営方針などの誰が見てもわかるような資料を 提供しておく必要があるかと思います。

JCアプリ活用、クラウドシステム導入、テンプレート整備、例会数の適正化など、多彩な提案が寄せられました。「頑張って」「新しいこと、試してみましょう」という前向きなメッセージが多く、組織全体で改善に踏み出す雰囲気を感じています。

続く「インフォメーションタイム2」では、四日市でともに活躍する青年、フルバックの藤牧省吾様が「デジタル技術を活用した課題解決のヒント」を語るセミナー映像を上映します。アンケート集計の間を有効活用し、具体的な解決策のヒントをつかむ絶好の機会です。どうぞお楽しみに。